

問題文

- 21 走者二塁・三塁のとき、セットポジションをとった投手が、軸足が投手板についたまま、二塁へ偽投した後、三塁へけん制球を投げた。規則違反ではない。

回答

(×)

※ 問題の原文では回答が『○』か『×』が明確に判断しづらい文章でしたので、一部手直した文章を問題文としてあらたに作成しました。 問題の原文=『走者二塁・三塁のとき、セットポジションをとった投手が、二塁へ偽投した後、軸足が投手板についたまま、正しく三塁へけん制球を投げた。規則違反でない。』

参照

6.02(a)ボーク(3)

投手板に触れている投手が、塁に送球する前に、足を直接その塁の方向に踏み出さなかった場合。

【解説】

軸足が投手板についた状態であれば、自由な足は、けん制球を投げる塁に向かって必ず踏み出さなければならない。

問題文

- 22 1アウト、走者満塁、ボールカウント3B—1S。ボークの投球が高めに外れ、打者が打たなかった。得点1、1アウト、走者二・三塁、ボールカウント3B—1Sで打ち直す。

回答

(×)

【解説】

得点1、1アウト、走者満塁 次打者が打席について試合続行となる。

参照

6.02(a)ボーク ペナルティ

(a)項各規定によってボークが宣告されたときは、ボールデッドとなり、各走者は、アウトにされるおそれなく、1個の塁が与えられる。ただし、ボークにもかかわらず、打者が安打、失策、四球、死球、その他で一塁に達し、かつ、他のすべての走者が少なくとも1個の塁を進んだときには、このペナルティの前段を適用しないで、プレイはボークと関係なく続けられる。

問題文

- 23 走者一塁のとき、投手が投手板をまたいだままストレッチを始めたが、ボールを落とした。投手は投手板に触れていないので、規則違反ではない。

回答

(×)

参照

6.02(a)ボーク(7)

投手が投手板に触れないで、投球に関連する動作をした場合。